

## 省エネ支援事業の一環で ECAP13（受入研修）を実施しました

### 【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託を受けて、ASEAN 7 カ国から 12 名のトレーナー候補者を日本に受入れ、2018 年 2 月 5 日～9 日の 5 日間の研修を通して、以下の取組みを実施しました。

- (1) ASEAN トレーナー候補者を対象にエネルギー管理、熱・電気技術について講義。
- (2) 自国省エネ診断結果のプレゼン、レポート提出、及びその評価。
- (3) 熱・電気計算の演習及び総合試験の実施。
- (4) 年間の総合評価を実施し、11 名に ASEAN トレーナー認定資格を付与。



集合写真



研修風景



講義受講



終了証授与

ASEAN10 カ国におけるエネルギー管理士の育成強化ならびに管理士認定制度の構築・改善を目的として、ASEAN 7 カ国から 12 名のトレーナー候補者を招聘し、以下の研修を実施しました。

- (1) 省エネ政策・省エネ法制度整備の進め方、省エネに資する熱・電気技術について専門家から講義を実施しました。
- (2) 自国省エネ診断結果のプレゼンを実施し、診断レポートを提出させ、それぞれについて専門家が評価しました。
- (3) 熱・電気技術のケーススタディを実施後、エネルギー管理を含めた総合試験を実施しました。
- (4) タイで行われた試験結果、自国省エネ診断結果のレポート、診断結果のプレゼン、今回の受入研修の試験結果を総合評価しました。
- (5) 研修参加者のうち 11 名が合格し、ASEAN トレーナーとしての認定を付与しました。うち成績優秀者の 5 名は 9 月のエネルギー大臣会合（AMEM ミーティング）で表彰する予定です。